

新国立競技場 景観モニタージュ写真の重大な瑕疵について

2014年10月15日

日本共産党東京都議会議員団

日本共産党都議団は9月16日、独立行政法人日本スポーツ振興センター（JSC）にたいし、JSCが東京都に提出した新国立競技場の景観モニタージュ写真のなかのA-1（外苑西通り・仙寿院交差点）、A-11（観音橋交差点）の2枚について、隣接する街路灯などの高さとくらべ新競技場施設が低く描かれているのではないかという疑問を指摘し、質問状を提出していました。

10月14日、JSCより回答があり、修正されたモニタージュ写真が示されました。

●修正されたモニタージュでは、新国立競技場が高く大きくなる

わが党の質問状では、例えばA-1の場合、新競技場1階にあたる人工地盤の設計上の高さは約10mでありながら、隣接する約10mの街路灯よりかなり低く、約7メートルの信号機と同じ高さに描かれていることを指摘しました（別紙1）。

JSCは私たちの指摘にもとづき街路灯や信号機の高さを測定し、この高さにあわせて作成し直した新たな景観モニタージュ写真が、回答書とともに示されました（別紙2）。このモニタージュ写真では、従来の写真とくらべ人工地盤などの位置は大幅に高いものに、また施設全体も大きなものへと修正されました（別紙4）。

したがって従来の景観モニタージュ写真は、私たちが指摘した通り、新競技場を設計より低く小さく描くという重大な瑕疵があったことが確認されました。

●景観モニタージュを全面的にやり直し、再協議を

そもそも景観モニタージュ写真は、東京都景観条例にもとづく事前協議のために「景観に配慮した内容を表すものとして知事が必要と認める書類及び図書」（東京都景観条例施行規則第17条3項五号）として、東京都に提出されたものです。

都は事前協議の結果、すでに新国立競技場計画を了承する対応をとってきました。しかし、景観の事前協議の基礎となる公文書に、実際の設計より施設が低く小さく見えるという瑕疵があったことは、きわめて重大な問題です。

JSCが今回の回答書で示したのは、わが党が指摘した2ヶ所の景観モニタージュ写真だけですが、他の写真についても精査しているとの説明でした。JSCは、東京都および関係区・都民にたいし誤りを謝罪するとともに、景観モニタージュを全面的にやり直し、都に再提出すべきです。

また、わが党はJ S Cへの質問状提出と並行して、景観を所管する東京都都市整備局にも、この問題を調査し回答するよう文書で求めてきました。こうした重大な瑕疵が見過ごされてきたことは重大です。都として、J S Cに厳しく抗議するとともに、これまでの事前協議は白紙にもどし、資料を再提出させ、厳正に再協議すべきです。日本共産党都議団は本日、その旨を都知事宛に申し入れました（別紙8）。

以 上

<添付資料>

- 別紙1 「景観モニタージュ写真の疑問点について」
(J S Cへの質問状・9月16日・日本共産党都議団)
- 別紙2 『景観モニタージュ写真の疑問点について』に関する回答書（追加）
(10月14日・日本スポーツ振興センター)
- 別紙3 J C Sが東京都の景観協議に提出した景観モニタージュ（従来の景観モニタージュ）A-1（外苑西通り・千寿院交差点）、A-11（観音橋交差点）
- 別紙4 従来のモニタージュと修正されたモニタージュの比較
- 別紙5 『景観モニタージュ写真の疑問点について』に関する回答書
(9月30日・日本スポーツ振興センター)
- 別紙6 新国立競技場景観モニタージュ写真の瑕疵をめぐる経過
- 別紙7 建築家中村勉氏よりいただいた景観モニタージュへの見解
- 別紙8 「新国立競技場景観モニタージュ写真の重大な瑕疵への対応について」
(都知事あて申し入れ・10月15日・日本共産党都議団)

【問い合わせ】

日本共産党東京都議会議員団
団長 吉田 信夫
新宿区西新宿2-8-1 都議会内
TEL：03（5320）7270
内線：56-860